

【表：ISO/DIS37001 版の目次を、一部は ISO9001:2015 版から引用、その他は筆者が翻訳】

箇条	項目
序文	
1	適用範囲
2	引用規格
3	用語及び定義
4	組織の状況
4.1	組織及びその状況の理解
4.2	利害関係者のニーズ及び期待の理解
4.3	贈賄防止マネジメントシステムの適用範囲の決定
4.4	贈賄防止マネジメントシステム
4.5	贈賄リスクアセスメント
5	リーダーシップ
5.1	リーダーシップ及びコミットメント
5.1.1	ガバナンス組織
5.1.2	トップマネジメント
5.2	贈賄防止方針
5.3	組織の役割、責任及び権限
5.3.1	責任と権限
5.3.2	贈賄防止コンプライアンス統括責任者
5.3.3	意思決定の移譲
6	計画
6.1	リスク及び機会への取組み
6.2	贈賄防止目標とそれを達成するための計画策定
7	支援
7.1	資源
7.2	力量
7.2.1	一般
7.2.2	雇用手順

箇条	項目
7.3	認識と教育
7.4	コミュニケーション
7.5	文書化した情報
7.5.1	一般
7.5.2	作成と更新
7.5.3	文書化した情報の管理
8	運用
8.1	運用の計画及び管理
8.2	デューデリジェンス
8.3	経理関連管理策
8.4	経理以外の管理策
8.5	贈賄防止管理策の、主管理組織及び協力会社による導入
8.6	贈賄防止に対するコミットメント
8.7	贈り物、接待、寄付及び類似の便益
8.8	贈賄防止管理策の管理不備
8.9	問題提起
8.10	贈賄の調査と対応
9	パフォーマンス評価
9.1	モニタリング、計測および評価
9.2	贈賄防止コンプライアンス統括責任者によるレビュー
9.3	内部監査
9.4	トップマネジメントレビュー
9.5	ガバナンス組織によるレビュー
10	改善
10.1	不適合及び是正処置
10.2	継続的改善
附属書 A	(参考情報) 本国際規格利用上のガイダンス

【出典：ISO/DIS 37001 Anti-bribery management systems Contents より】